



学校だより



令和4年4月28日
5月号
調布市立第一小学校
校長 川島 隆宏

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho/>

TEL042(481)7636

地震・雷・火事…

副校長 飯島 慶裕

新緑の中、五月晴れの空に元気よく泳ぐこいのぼりを目にする時季となりました。新しい学年がスタートして1か月がたち、どのクラスも目標に向かって具体的に取り組み始めたところです。

ところで、昔から恐れられている順番に、「地震・雷・火事・親父」という言葉があります。「親父」についてはいろいろな説があり、その中の一つに「台風」という意味だったのではないかというものもあります。「台風」と呼ばずに「大山嵐」（おおやまじ）という漢字と読み方で表していたものが「おやじ」になったというものですが、はっきりしたことは分かりません。どちらにしても、昔から地震は1番恐れられていて、日本書紀には、允恭（いんぎょう）5年（今から約1600年前）7月14日に、大和の国で地震があったという記録が残っているほどです。

さて、ここ100年以内に起きた地震で、特に大きな被害があったものは、大正12年の関東大震災、平成7年の阪神・淡路大震災、平成23年の東日本大震災が挙げられます。それぞれの震災では、火災や建物の倒壊、津波などで被害が大きくなり、犠牲者も増えてしまいました。しかし、日本ではその悲しみを乗り越え、減災に向けて様々な対策に取り組んできています。例えば、地震直後の火災を防ぐために、緊急ガス遮断装置の設置が義務付けられ、建物の倒壊を防ぐために耐震化工事をすすめ、現在は免震・制震構造で、揺れそのものを弱くする技術も開発されています。今回の起震車体験で6年生の子供たちは、阪神・淡路大震災と同じ震度7の揺れと、免震構造による揺れの違いを体験しました。子供たちはその違いから技術の進歩に驚くとともに、地震を恐れるだけではなく、対策を立て、しっかり事前の準備をしておくことが大切であると気付いたようでした。

「災害」は忘れたころにやってきます。学校では、子供の生命を守るために、いろいろな場面を想定した避難訓練を行っています。起こってしまってから、「あのとき準備しておけばよかった」と後悔しないために、御家庭でも日頃よりの準備をお願いいたします。



6年生 起震車体験



○ 6月中旬頃より12月末までの間、体育館の全面改修工事を行います。期間中、体育館は使用できなくなりますので、体育等の時間割を変更する場合があります。また、資材置き場等を校庭に設置するので、校庭は少し狭くなりますので、御承知おきください。

○ 6月18日（土）、1～3校時に学校公開を行います。ただし、新型ウィルス感染拡大防止策として、保護者の方は、各家庭児童一人につき1時間のみ（1名まで）の参観といたします。詳しくは、改めてお知らせいたします。

5月の生活目標

廊下・階段は静かに歩こう

廊下や階段を静かに歩行することは、安全に気を付け、落ち着いて生活する上で大切なことです。廊下・階段歩行のルールを身に付けさせると同時に、楽しく明るい学校生活を送ることができるようにしたいと思います。

